

第6回 定例役員会 (2018年11月)

日時	2018年11月7日 水曜日 10:00 ~ 12:00	場所	沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター
参加者 ■ 欠席者 □	■武山 三郎 ■上里 直司 ■(株)山口設計 ■(有)とうま建築設計事務所 ■(有)国吉組 □パセオ建築設計室 □きた建築設計事務所 □アトレ設計事務所 ■(有)大旺産業 ■(株)一建設 ■(有)協生産業 □(有)沖建工房 ■(株)サポート21 ■(株)シンセイ □(株)大米工業 □HIRO設計 □丸間組 □(株)ミシマ 議事録担当:新里 千明		
議題 1	国への要請内容及び日程の検討について		
 ①今年度予算が115億、平成31年度予算の概算要求は145億であって30%以上の伸び率をみせている。その満額確保の要請。 ②他の要請としては80Wと75W区域の防音工事対象年度を85W区域と同じとすること。 ③75W区域における工事費の限度額が低すぎるので限度額を上げること。 そのことについての国への要請行動を会長、事務局長はじめ理事数名にて今月の20~22日(火~木曜)に東京行き予定しています。 (後日別紙要請書掲載予定)		
議題 2	各関係自治体への要請内容の検討について		
 個人・公営住宅の防音事業における弊会会員の推薦についてという要請文を地元会員名簿、及び、賛助会員のアルミサッシメーカー名簿と共に各関係自治体の首長へ郵送する。 (別紙要請書参照) ※各関係市町村の首長へ既に、11月13日付で郵送(名簿添付)済みです。		
議題 3	その他		
	☆危険への接近について 沖縄県の場合は先祖代々からの土地に住むのが習わしですが、実際は、軍用地以外の土地にしか住めないという実情を、要請時に口頭で伝えるべきです。 (嘉手納町は80%以上が軍用地) ☆山口県の岩国基地では、現在、80W~85Wの告示後防音工事対象年度がS55.9/10よりH23.9/20までと引き上げられている。 さらにH30年度より80Wの外郭防音工事もH23.9/20まで対象となりました。 沖縄県では、未だ85W地域でさえ、外郭防音工事もH20.3/10までの対象でさらに75W、80WはS58.3/10までと、とどまっているのはおかしい事です。		

平成30年11月 日

市長

殿

沖縄県基地周辺住宅防音事業協力会会長
武山三郎

公営・個人住宅の防音事業における弊会会員の推薦について（要請）

日頃より住宅防音事業並びに当協力会の活動に対し、格別のご配慮賜り、誠にありがとうございます。

さて、沖縄県基地周辺住宅防音事業協力会は、嘉手納飛行場及び普天間飛行場周辺に係る住宅防音工事に対し、関係官庁及び住民への協力と並びに会員相互の親睦、情報交換、住環境の改善を図ることを目的として設立されました。現在は県内の約100社で構成しております。

当協力会に加盟（参加）する設計事務所、施工業者、アルミサッシ業者、電気工事業者は、お互いに協力し、国（沖縄防衛局）が予算執行し、補助事業者が発注する住宅防音事業の円滑な遂行に協力しております。その結果、多くの実績を積み上げて来たところです。

また、当協力会として関係自治体の首長のご協力、関係団体など多くの協力者の御支援を得て、政府機関に対し住宅防音区域内の住民の声を反映させる活動にも取り組むと共に、住宅防音事業に多くの予算を計上するよう要請活動にも取り組んでいるところです。その成果として、平成30年度は約116億円（前年比2倍）の予算額が計上されました。今年度はこれら予算に基づき発注される住宅防音事業に取り組んでいるところです。

ご案内のとおり、住宅防音事業の対象は、国が指定した区域内で個人が居住する住宅及び、関係自治体が運営する公営住宅が対象となっております。

当協力会に加盟する事業者は、これまで多くの住宅防音工事を処理しており住宅防音事業に精通し、多くの実績を残しております。

公営住宅の住宅防音事業については、地元の住宅事情等に詳しく、住宅防音事業に精通する当協力会に加盟する地元業者を推薦することを要請いたします。また、この事が地元業者の育成にも繋がると思いますので改めて推薦するよう要請いたします。

当協力会に加盟する業者の名簿を添付しますので、公営住宅等の住宅防音事業のご参考にして頂きますようお願い申し上げます。

以上

添付書類；

沖縄県基地周辺住宅防音事業協力会会員名簿（平成30年10月末現在）